

交換留学帰国報告書

記入月日: 平成30年7月31日

氏名: 柳浦 千春

留学時所属&学年: 国際地域学部グローバルアプローチ3年

留学先大学	天主教輔仁大学
留学先国	台湾
留学期間	1学期間
留学開始一終了日	2018年2月26日 - 2018年6月28日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

月例報告書：公開を 希望します ・ 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

天主教輔仁大学には 200 以上の英語開講科目があり、福井大学で学んだ英語を生かし、より英語力を高めることができるのではないかと思います、また、留学を通して積極性を身につけ異文化理解を深めることを目標に交換留学を希望しました。また、交換留学であれば、授業にもよりますが、現地で取った授業と福井大学の単位交換が可能であるため、交換留学という選択にしました。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

出発の半年前に具体的に大学への提出書類やビザの申請書類等の留学準備を始めました。留学するためには TOEFL の点数が必須であるため、その時期より前から留学を意識して TOEFL の勉強に取り組みました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

親日国でもある台湾という国や日本との関係性についてより深く知りたいと思ったのと、輔仁大学では英語の授業が多く開講されていることから、英語力を高めたいと思いこの留学先に決めました。派遣先の大学については主に大学ホームページや大学から送られてくる資料を通して、また現地情報についてはインターネットを通して情報収集を行いました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

TOEFL 対策講座という授業があったため、とにかくその授業で試験に出やすい大事なポイントを押さえようと予習・復習を通して勉強に取り組みました。TOEFL は大学で開催されたものを4、5回は受けたと思います。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

福井大学ホームページの留学のページが提携先の大学の情報をリンクから調べることや、福井大学から留学に行った先輩方の体験談を読むことができるため、留学先をどこにするか決めるのに役に立ちました。助言教員の先生は、留学先の大学でどの授業を取ったら良いか相談に乗ってくれ、単位交換をする場合にどの授業と交換するのが良いか提案してくれたためとても助かりました。国際課の方々もメールや手続きを通して申請書類や渡航準備を進めてくださったのでとてもお世話になりました。さらに、留学セミナーの授業では単位交換や目標設定、危機管理を学ぶことができ、留学への心構えをすることができました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

渡航前に輔仁大学では所属した学部の授業しか取れないと聞き、どの授業を取るかとても悩みました。大学から英語開講科目のリストが送られてくるのが出発の2週間前であったため、よく目を通すことができずに履修登録してしまったため、早めにリストを見てどの授業を受けるか決めるのが良いと思います。所属する学部以外の授業でも先生に相談したら取れるようなので、受けたい授業があれば最初の授業に出席し、先生に相談したほうがいいです。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

自由な校風であると感じました。自然豊かで落ち着いた雰囲気の大学です。さまざまな学部が併設されているためとても広い大学です。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

大学構内には Wi-Fi が通っているためネット環境はとても快適でした。学習面や生活面で困ったことがあれば、バディに相談でき良かったです。学内にはジムがあり安く利用することができます。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

特にサークルや部活には参加しませんでした。留学生向けのイベントを企画、実行する IDEA という学生団体のイベントに何回か参加しました。ウェルカムパーティーや、夜市ツアーなどのイベントがあり、他の留学生や現地学生と交流できる貴重な機会であるため、なるべく参加するのが良いと思います。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

No.	科目名	担当教員名	時間数 /週	単位数	クラス 内の 人数	授業内容、課題 (予習・復習など)
1	Stories of Formosa in English	江美姿	2	2	20	台湾の戦後の歴史や文化。ディスカッション、レポート、プレゼン
2	Human Resource Management	林瑩滋	3	3	60	人力資源管理の基礎。プレゼン、中間テスト、期末テスト
3	Management in English	黄愷平	3	3	70	マネジメントの基礎。クイズ提出、プレゼン、テスト
4	Mandarin Elementary2	姜瑞涵	4	4	15	中国語の学習。プレゼン、テスト

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

内容を少しでも理解できるようにテキストを何度も読むことを心掛けました。Management ではクイズの提出が出席確認となるため毎回欠かさず出しました。プレゼンがある授業では早めに資料収集をしてパワーポイントを作り準備しました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

シラバス通りに進んでいない授業があり、いまどこを学習しているのか、クイズはどの範囲から出題されるのか分からなくなった時がありました。その時はバディが相談に乗ってくれたので解決することができました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

講義聴講が主な授業スタイルだったと思います。そのほかにディスカッションや学生のプレゼンテーションを聞き Kahoot!というクイズをしたりしました。講義聴講やディスカッションは日本と同じようなものですが、現地の学生は英語が普通に話せ、留学生が積極的に質問していたのでレベルが高いなと感じました。Kahoot! というクイズは誰でも作ることができるクイズで、プレゼンの内容の理解度を測るために効果的な方法であると感じました。

5. お薦めの教員や授業などがありましたら教えてください。

私が受けた授業の中で特に Human Resource Management という授業が授業の中で会社を立ち上げ、ネット販売やイベントでの販売を通して会社の仕組みやチームワークを現地の学生と交流しながら実践的に学ぶことができるためおすすめです。

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(4)人部屋
寮・アパート名	文徳宿舎
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input checked="" type="checkbox"/> その他(光熱費は別で学期末に部屋ごとに人数で分担して払う)
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input type="checkbox"/> その他 ()
共用設備	シャワー、トイレ、洗面台、娯楽室(テレビ、ソファなど)、コンビニ、冷蔵庫、洗濯機(1回35分20元)、乾燥機(1回40分10元)、脱水機、ウォーターサーバー(熱湯も可)、自動販売機

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

現地のスーパー、コンビニ(ファミリーマート、セブンイレブン、Hi-life)、学内フードコート(文園、輔園、理園、心園)、ATM、大学周辺に吉野家やモスバーガーなど日本食レストランがある。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

銀行開設は特にしませんでした。あらかじめ初期費用と3月分の日本円を持って行き現地空港で両替しました。4月は2, 3回キャッシングをして現地通貨を手に入れました。5月に親が台湾に来る際に5, 6月分の費用を持ってきてもらい、現地空港で両替し、足りない分はキャッシングしました。ミニスケジュール帳を1冊持って行き、使用したお金をその都度メモしました。飲食店などはレシートを使用しないお店もあるため、メモをするのが良いと思います。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

シャワー室に行く際のスリッパや、部屋のゴミ袋用のビニール袋、大きめの洗濯ネットは便利であったため、百均などであらかじめ買って持っていくと良いと思います。椅子用のマットを持参すべきだと思いましたが、荷物になりますし、現地で購入すればよいと思います。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝台湾ドル TWD)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	往復 13000TWD	食費	24000TWD
保険代	67120 円	家賃	9000TWD(deposit2000TWD)
予防接種・ビザ代	16100 円	教科書代	2940TWD
交際費(外食等)	10000TWD	その他	

合計:58940台湾ドル + 83220 円(約32万円)

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

水道水は飲まないようにしていました。また、地下鉄やバスなどでは飲食禁止のためそのルールを守り生活していました。電車や建物内はクーラーが効き寒と感じたこともあるので、暑い時期であっても薄い羽織物が一枚あると便利だと思います。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

私は1回も行きませんが、学内に大学の病院があり、留学生は一定の料金で診察を受けることができます。寮から歩いて行ける距離に大学病院がありました。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

特に留学中に通院や入院はしませんでした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

渡航前に胸部 X 線検査、梅毒血清検査、麻疹の予防接種をしたかどうかの検査が必要でした。日本からは念のために胃腸薬と風邪薬を持って行きました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

この交換留学での目的は主に英語開講科目の履修を通して幅広い知識を身につけることと、現地学生や他の留学生との交流を通してスピーキング能力やコミュニケーション能力を向上させるということでした。Management in English や Human Resource Management in English の授業履修を通してビジネスや会社経営、リーダーシップ、雇用者と労働者の関係など、今まで深く知ることの無かった新たなテーマについての知識を得ることができました。さらに、五年前に台湾を訪れた時に感じた農村地域と都市部の産業や人々の生活の違いについて実際にその土地を訪れ、歴史や文化を感じることでそれぞれの地域の特徴を理解することができました。また、実際に博物館や図書館に行き見て学ぶことに加えて、Stories of Formosa という授業を通して、現地学生から客観的に見た台湾や、台湾の原住民族の文化、歴史について理解を深めることができたため、異文化を理解するという自分の目標を達成することができました。その授業では、台湾がいつ頃からどの国によって Formosa(美しい島)と言われたのか、地理的にどのように台湾が形成されていったかを研究する方の貴重なお話を聞くことができ、台湾についてより多くのことを学ぶことができた良い経験になりました。

輔仁大学での留学を通して現地学生は普通に英語を上手に話すことができることに驚きました。私のバディは友人と話す際には中国語を使い、留学生と話す際には英語を使っていてその使い分けが凄いと感じました。また、ヨーロッパやアジア地域から来た他の留学生の授業に対する意識の高さと、積極的に先生に質問したり、先生の問いかけに受け答えたりする姿勢から、その姿勢を見習いたいと思いました。

台湾に来て、現地の人々は皆中国語を使って生活しているため、まず台湾で生活していくためには中国語が話せないと生きていけないと感じました。2年次に第二外国語科目として一年中国語を学習しましたが、主に読み書きの学習だったため、中国語を話すことがほとんどできずもっと話す学習をしておくべきだと感じました。中国語を話すためにはまずなるべく多くの単語を覚えるのが重要だと感じ、空き時間を活用し単語の学習を心がけました。さらに、飲食店のメニュー表をもらいどのような意味か自分で調べメモし、できるだけ指さしで注文するのは

なく、口頭で注文するようなお店に行き中国語を話す能力を高めようと思いました。来た当初は、何を言っているのか分かりませんが、留学を通して簡単な会話は聞き取れるようになり、少しだけですが成長を感じました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

中国語を習得するという事はあまり達成できませんでした。授業中や生活でしか中国語を話す機会がなかったため現地の人々と話す機会をもっと作るべきだったと思います。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

TOEFL や中国語検定試験を受けるために英語と中国語の勉強に取り組みたいです。将来は公務員として地域の人々と関わり合いながら地域に貢献したいです。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

輔仁大学は英語だけでなく中国語を学びたいと考えている人、現地の学生や他の留学生など多くの学生と交流したいと考える人にとって最適な大学だと思います。輔仁大学には、私の所属していたビジネス系の学部に加え、英語学科や日本語学科のある外国語学部やメディア系の学部、教育学部などひとつのキャンパス内に多くの学部があり、とても多くの学生が在籍し、さまざまなことを学ぶことができる大学です。日本語学科の学生は日本に興味がある学生が多く、日本語と中国語をお互い教え合いながら交流することで、日本や日本文化に対してどのようなイメージを持っているのか知ることができると思います。さらに、この大学にはヨーロッパ、アジア、アメリカなど、世界中から留学生が集まり、日本人留学生も多いため、現地の学生だけでなく、さまざまな文化、価値観を持つ人々と出会うことができます。同じ日本人留学生も多いことは、お互い情報交換をするなどして助け合うことができるため安心できました。留学生向けのイベントに参加することは、現地の学生と交流することができ、他の留学生と話す良い機会にもなるのでぜひ参加すると良いと思います。

台北は日本でいう東京と言われるくらい発展している都市です。けれども、台北は東京と比べ人口が少なく、外れを歩けば古いアパートなどから庶民の生活を感じることができ住みやすい都市であると感じました。大学からは MRT という電車を使って約 20 分で台北中心部へ行くことができとても便利です。台北 MRT を使えば台北郊外へ行くのも便利で、台北中心部を回るのにも役に立ち凄く便利でした。さらに台北では、街の至るところで日本食レストランや日本企業を見かけるため日本を感じることができます。日本人観光客が多く、飲食店の中には日本語のメニューがあるお店や、日本語が通じるお店もあるため、観光もしやすいと思います。台湾には日本統治時代に作られた歴史的な建築や、古い建物を新たに活用しているリノベーションスポットが多いため、建築に興味がある人にとっても良い国です。

輔仁大学の周りにはスーパー、コンビニ、レストランがたくさんありなんでも揃うとても便利なところなので生活しやすい環境も整っています。大学内は自然豊かで落ち着ける環境で勉強す

るのに良い環境です。この報告書がこれから輔仁大学へ留学しようと考えている方の参考に
少しでもなれたのなら幸いです。